



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門担当兼経営戦略室長 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	113,458	△8.1	2,590	△38.4	2,774	△38.3	2,369	△25.8
2020年3月期第3四半期	123,394	△7.6	4,203	△11.3	4,495	△12.2	3,194	△13.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,656百万円(33.5%) 2020年3月期第3四半期 3,488百万円(143.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	93.89	—
2020年3月期第3四半期	126.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	117,002	73,587	62.9
2020年3月期	113,432	69,966	61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 73,587百万円 2020年3月期 69,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2021年3月期	—	17.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	△6.2	4,000	△33.8	4,150	△35.2	3,250	△26.0	128.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	26,025,242株	2020年3月期	26,025,242株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	787,464株	2020年3月期	787,366株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	25,237,786株	2020年3月期3Q	25,238,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、長引く米中貿易摩擦の解決の糸口が見えない状況が続く中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大変厳しい状況で推移しました。

当社企業グループの主要顧客である半導体・液晶などの電子部品製造装置関連や自動車関連などの製造業においては、中国経済の回復により、一部では景気の持ち直しの兆しが見られるものの、本格的な設備投資の回復には至らず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、新型コロナウイルス禍の中で、「人命の安全・安心」を最優先とした感染防止策を徹底しながらお客様への商品の供給とサービス活動を継続するとともに、技術商社としてロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズへの対応や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の蓄積、及びそれらを提案・検証できる「展示場・ラボルーム」を本社1階に開設するなど、将来につながる投資を積極的に実行してきました。また、コロナ禍への緊急対応を契機に、将来的な利益生産性の向上を図るべくオンライン・デジタル化を一層推し進め、業務の合理化・効率化に取り組んでまいりました。

以上の背景から、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,134億58百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益25億90百万円（前年同期比38.4%減）、経常利益27億74百万円（前年同期比38.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億69百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

〔FAシステム事業〕

売上高：612億96百万円（前年同期比14.8%減）、営業利益：18億7百万円（前年同期比39.2%減）

液晶装置関連をはじめ総じて設備投資の回復はまだ弱く、FA機器分野はプログラマブルコントローラー、インバーター、ACサーボ及び配電制御機器は減少しました。一方、半導体製造装置関連、食品、自動車関連においては一部戻りが見られ、また物流向けに注力分野のセンサーを含めた制御システム機器が伸長しました。

産業機械分野においては、ロボット関連が効率化、省人化需要に応じて堅調に推移しましたが、生産関連設備投資の低迷により工作機械及びレーザー加工機は減少し、産業デバイスコンポーネント分野においても、タッチパネルモニターやコンピューター周辺装置が減少しました。鉄鋼プラントは更新需要の一巡により大きく減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比14.8%の減少となりました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：392億73百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益：6億82百万円（前年同期比27.6%減）

中国の経済活動が活発になる中、電子部品に回復の動きが見られ、海外では特に中国、香港、シンガポールにおいて前年を大きく上回る水準を確保することができました。

一方、国内では、2020年4月に子会社化した株式会社立花電子ソリューションズが貢献したほか、子会社業績が回復しましたが、当事業の主要顧客である産業向けの需要はまだ十分な回復に至らず、マイコン、ロジックICは堅調に推移しましたが、パワーモジュール、液晶パネル、メモリーカード、密着イメージセンサーが減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比11.1%の増加となりました。

〔施設事業〕

売上高：101億18百万円（前年同期比18.5%減）、営業利益：54百万円（前年同期比78.2%減）

施設事業では、更新需要を受けてエコキュートや電気温水器などオール電化製品が堅調に推移するとともに、発電設備、受配電設備が集合住宅向けなどで伸長しました。一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、多くの施設で更新案件が延期や中止になり、店舗用パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなどの空調機器及び昇降機、LED照明は減少し、コロナ対策を含む短納期商材の拡販に努めるも業績を下支えするまでには至らず、当事業全体の売上高は、前年同期比18.5%の減少となりました。

〔その他〕

売上高：27億70百万円（前年同期比24.3%減）、営業利益：45百万円（前年同期比21.3%増）

MMS分野は、立体駐車場向け金属部材が案件の減少により低調に推移しました。

EMS分野は、ポンプ用モーターの制御基板、受託設備機器が好調に推移しましたが、プラットホーム可動柵については、コロナ禍の影響を受けて工期延伸となったことから低調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比24.3%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,170億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億69百万円増加いたしました。

流動資産は、883億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少70億37百万円、たな卸資産の増加36億47百万円であります。

固定資産は、286億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億66百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券の増加35億80百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、434億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少いたしました。

流動負債は、399億円となり、前連結会計年度末に比べ11億13百万円減少いたしました。この主な要因は、未払法人税等の減少7億88百万円、賞与引当金の減少6億63百万円であります。

固定負債は、35億14百万円となり前連結会計年度末に比べ10億61百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、735億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億21百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加13億34百万円、その他有価証券評価差額金の増加25億12百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、本日（2021年2月5日）公表の「2021年3月期通期連結累計期間業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,117	20,605
受取手形及び売掛金	57,190	50,153
たな卸資産	11,703	15,350
その他	2,470	2,260
貸倒引当金	△59	△44
流動資産合計	88,422	88,325
固定資産		
有形固定資産	5,201	5,125
無形固定資産	431	577
投資その他の資産		
投資有価証券	18,185	21,766
退職給付に係る資産	284	335
その他	994	958
貸倒引当金	△88	△87
投資その他の資産合計	19,377	22,973
固定資産合計	25,009	28,676
資産合計	113,432	117,002
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,183	32,866
短期借入金	1,548	2,056
未払法人税等	848	60
賞与引当金	1,089	426
その他	4,343	4,490
流動負債合計	41,013	39,900
固定負債		
長期借入金	71	40
退職給付に係る負債	652	716
その他	1,729	2,757
固定負債合計	2,452	3,514
負債合計	43,466	43,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,999	6,999
利益剰余金	53,595	54,930
自己株式	△894	△894
株主資本合計	65,575	66,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,004	6,516
繰延ヘッジ損益	△7	0
為替換算調整勘定	198	11
退職給付に係る調整累計額	195	149
その他の包括利益累計額合計	4,390	6,677
純資産合計	69,966	73,587
負債純資産合計	113,432	117,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	123,394	113,458
売上原価	106,538	98,431
売上総利益	16,856	15,027
販売費及び一般管理費	12,652	12,437
営業利益	4,203	2,590
営業外収益		
受取利息	94	72
受取配当金	293	271
その他	114	185
営業外収益合計	503	528
営業外費用		
支払利息	15	14
為替差損	31	177
売上割引	139	124
その他	24	27
営業外費用合計	211	344
経常利益	4,495	2,774
特別利益		
投資有価証券売却益	90	2
負ののれん発生益	—	395
特別利益合計	90	398
税金等調整前四半期純利益	4,585	3,173
法人税等	1,391	804
四半期純利益	3,194	2,369
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,194	2,369

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,194	2,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	492	2,512
繰延ヘッジ損益	0	7
為替換算調整勘定	△152	△186
退職給付に係る調整額	△46	△46
その他の包括利益合計	293	2,286
四半期包括利益	3,488	4,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,488	4,656
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに子会社とした株式会社立花電子ソリューションズを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	71,970	35,347	12,414	119,732	3,661	123,394	—	123,394
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	71,970	35,347	12,414	119,732	3,661	123,394	—	123,394
セグメント利益(営業利益)	2,972	943	251	4,166	37	4,203	—	4,203

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,296	39,273	10,118	110,688	2,770	113,458	—	113,458
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	61,296	39,273	10,118	110,688	2,770	113,458	—	113,458
セグメント利益(営業利益)	1,807	682	54	2,544	45	2,590	—	2,590

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。